

2021年10月1日（金）日刊工業新聞

アンボマー、マルチ酵素配合の家庭用洗剤・柔軟仕上げ剤

(2021/10/1 05:00)



クリーニング店向け洗剤製造技術を生かした家庭用洗剤（左）と柔軟仕上げ剤3種

アンボマー（大阪市中央区、片岡友美最高経営責任者〈CEO〉）は、クリーニング店向け洗剤製造技術を生かした家庭用洗濯洗剤と柔軟仕上げ剤を12月にも発売する。プロ用洗剤の洗浄力、仕上げレベルを維持しながら、あらゆる汚れに強いマルチ酵素を配合した。4日からクラウドファンディング（CF）サイト「マクアケ」で先行販売、終了後に自社サイトで直接販売する。

フランス語で「良い香りで満たされる」という意味の「アンボマー」ブランドで、液体洗剤と柔軟仕上げ剤（いずれも600ミリリットルボトル入り）を販売する。柔軟仕上げ剤の香りは「ジャスミン」「ラベンダーバニラ」「地中海」の3種類。自社サイトでの販売価格は洗剤1800円、柔軟仕上げ剤2180円（いずれも消費税込み）を予定する。

アンボマーは化学品を製造する共栄社化学（大阪市中央区）が全額出資で2月に設立した。共栄社化学は1904年にせっけん製造で創業、現在は機能性化学品や業務用洗剤などすべてBツーB（企業間）ビジネスとなっているが、アンボマーであらためてBツーC（対消費者）製品を展開する。液体洗剤を手始めに、今後は粉末洗剤や消臭剤などトイレタリー製品を開発、販売する。

(2021/10/1 05:00)